

総務省 平成24～25年度地域ICT振興型研究開発事業  
(122310010)

## スマートテレビを活用した独居高齢者等の安心・安全 ネットワークシステムの志布志モデルの実証実験研究

発表者 藤田 晋輔 ・ 岩倉路和

共同研究者



(株)鹿児島TLO ( 藤田晋輔・吹留博実 )



(株)コムツアイト ( 岩倉路和・天辰健一 )



(学法)津曲学園鹿児島国際大学 (田中安平・岩崎房子)



## 本事業の研究目的と目標の概要

### ◆研究目的

- ① 双方向通信(ICT)にCATVを組み込み、IT技術を駆使することにより、**遠隔地居住親族、介護施設、医療機関等が、独居高齢者等の日常生活まで把握する「定時もしくは常時見守り」**を目指すシステムを構築する。
- ② 高齢者だけでなく、誰でも使いやすい見守りシステムの構築をめざす。

### ◆目標の概要

- ① **CATV**を核としたPC・スマートフォン等による**双方向通信が可能**になり、さらに暗黒状態においても画像獲得可能なカメラ（オプション）を組み込む。
- ② CATVがOFFでも被動体（高齢者）の特殊行動をキャッチし、自動的にONを可能に。
- ③ 介護・福祉施設職員、医療機関職員および市民に対する反応調査（アンケート）。
- ④ **独居高齢者、遠隔居住親族、介護・福祉施設、医療機関等**の相互の見守りだけでなく、**日常的、突発的連携が可能で、映像を含めた通信手段**としての機能を確保。
- ⑤ 地域の介護/福祉施設等、医療機関および薬局の連携を検討。
- ⑥ **介護施設、医療機関等の視覚的、聴覚的な連携システムの連携**を目標。
- ⑦ プライバシー、セキュリティ（**電子カルテ**等を含む）のシステムを開発する。



高齢化対応の広域連携型社会形成システムの構築

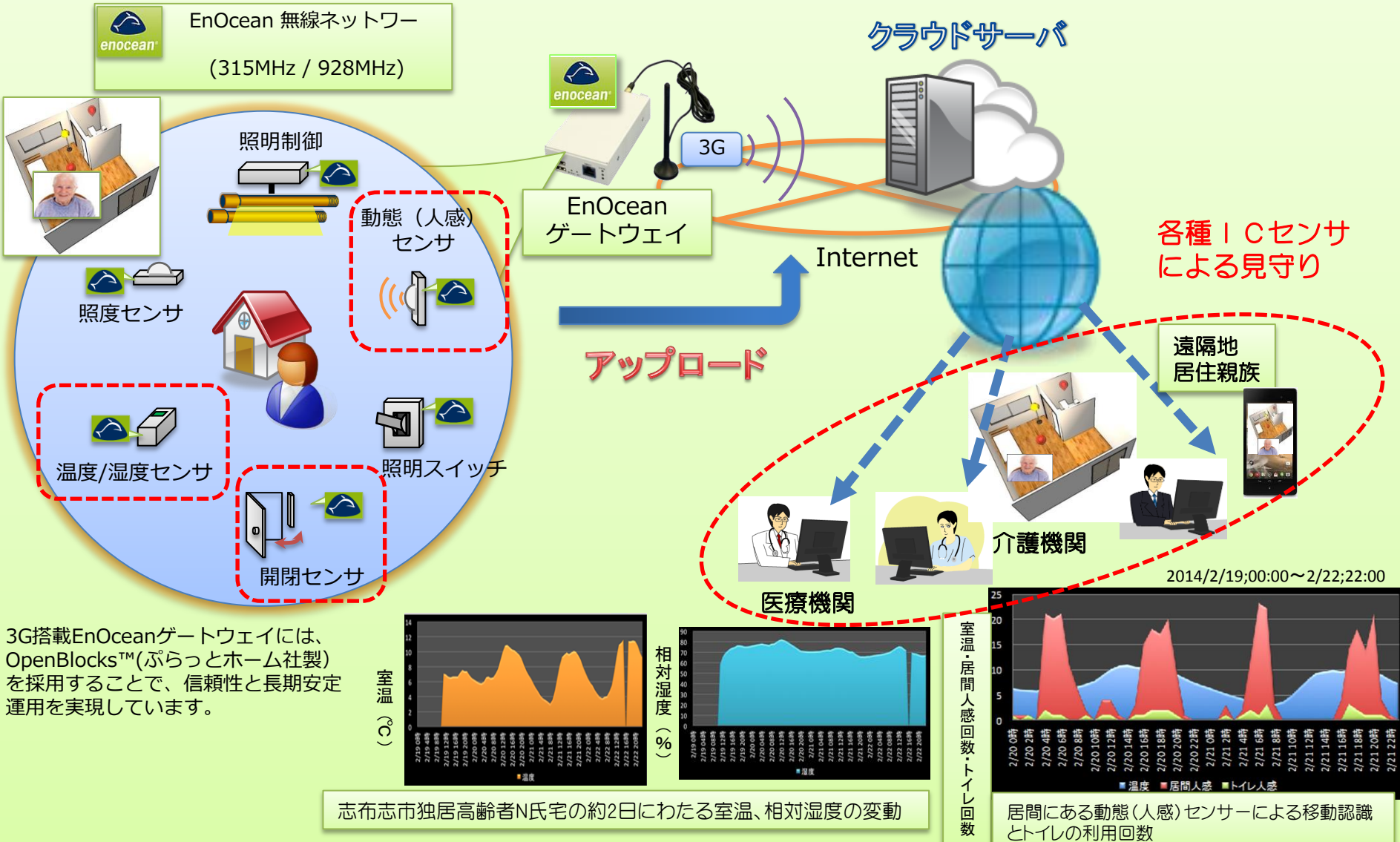
みまもりフェーズ



# 見守りを支える技術と仕組みとその成果

## 研究開発の成果

## 実証実験を行ったシステム概観



3G搭載EnOceanゲートウェイには、OpenBlocks™(ぷらっとホーム社製)を採用することで、信頼性と長期安定運用を実現しています。

志布志市独居高齢者N氏宅の約2日にわたる室温、相対湿度の変動

居間にある動態(人感)センサーによる移動認識とトイレの利用回数

# 見守りシステム事業構想(展開)と波及効果

【2009】i-Japan 戦略2015(日本政府)  
「国民主役のデジタルによる安心・安全活力」の実現化  
【2011~2012】 日本経済団体連合会事業  
「未来都市モデルプロジェクト・開始」

【2009】「志布志市地域情報通信基盤整備推進事業」

- ・ 光ファイバー網整備(全市内98%超にCATV設置可能)
- ・ ICT利活用可能(現状の地域情報化、庁内事務のICT化 ⇒行政 市民広報、……) 行政 ⇒ 防災・福祉・医療・教育 ……等)

事業採択  
2012.06.26.



1. 研究計画作成
2. 研究事業開始 (2012.07.27)

応募  
2012.02



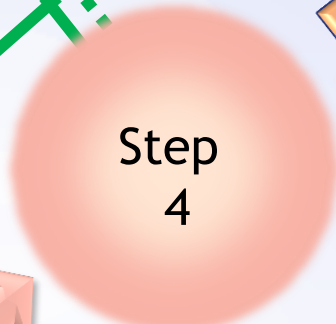
1. 方向性の策定
2. ICT-CATV関連ソフト/ハードの試作
3. 対象地域の関連事項の全貌調査
4. 対象地域のICTに関する基礎調査 (アンケートによる自治体、関係施設等に向けた個別調査)

2012年度



1. システムの試作完成
2. システムの試行実験
3. ハード・ソフトの課題分析と修正
4. 介護・福祉および医療関係者等へのアンケート調査と分析

2013年度



Step 5

1. 見守り機器の進化
2. 市場にサンプル出荷
3. 市場調査(課題分析)
4. 自治体・医師会・福祉関連団体と協議
5. 問題点の探索
6. ビジネス化

2014年度~

## 成果の展開

1. ICT機器、組込みソフトの完成
2. 各種事象のビッグデータ収集
3. 見守りサンプル機器の完成
4. サンプル機器投入と反応調査
5. 見守りシステム市場投入
6. 課題分析と市場調査

## 波及効果への取り組み

1. 光回線/インターネット社会/ICT通信による高齢者見守りと住民の生活向上/地域社会・経済活動等の地域貢献。
2. 見守りシステムの機器組立・IT敷設・保守・見守りシステム管理業務等の雇用創成。
3. 介護—医療分野とIT分野の連携に伴う新規雇用創成。
4. 自治体、福祉関連団体、および地域医師会と協議、さらに機器開発共同研究。
5. 介護・福祉施設/医療機関—薬局の連携活動。
6. スマートシティ構築の「きっかけ」づくり。